

**チャレンジ!**  
**野菜作り**  
 べた掛け資材で  
 害虫を防ぐ  
**コマツナ**

園芸研究家 成松次郎

コマツナは、ビタミン類、カルシウム、鉄分を多く含む緑黄色野菜です。

耐寒性があり、ほぼ一年中栽培できます。また冬の寒さにあてると特においしくなります。

品種は、秋冬まきでは「はまつづぎ」「サカタのタネ」、「楽天」(タキイ種苗)、春夏まきでは「いなむら」(サカタのタネ)、「菜々音」(タキイ種苗)などがおすすめです。

**「畑の準備」**  
 種まき2週間前に畑1㎡につき

図1 畑の準備

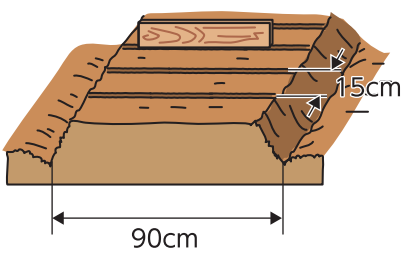


図2 種まき

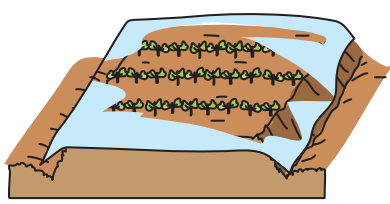
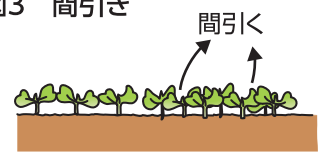
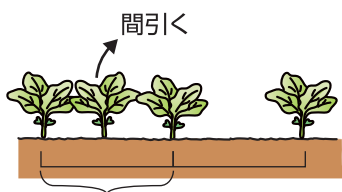


図3 間引き



(1) 子葉が重なる部分を間引く



(2) 草丈7~8cmのときに5~6cm間隔に間引く

苦土石灰を100gまいて耕し、その1週間後にN・P・K比が各10%の化成肥料(固形30号など)100gと堆肥2~3kgを施し、土よく混ぜておきます。

次に幅90cmの畝を作り、ここに条間15cmの種まき溝を切り、ここにこの時、支柱や木板を使うと深さが一定になります(図1)。

**「種まきと間引き」**

1cm間隔で種をまき、土を軽くかぶせます。この後に不織布などをべた掛けすると乾燥や強い雨を防ぐほか、アブラムシやコナガといった害虫も予防できます(図2)。

12~2月にまく場合は保温のためにも、べた掛けやトンネルで保護しましょう。

また、コマツナは生育が早く、一気に育てると収穫が追いつかないため、1週間おきに種まきして

**「収穫」**

草丈が20~25cm程度に育ったら収穫時期です。栽培期間の目安は、春まき(3~5月)で30~50日、夏まき(6~8月)で20~25日、秋まき(9~11月)で30~60日、冬まき(12~2月)で60~90日です。不織布などをべた掛けしていた場合は、収穫5~7日前には取り除きましょう。

収穫が遅れると葉が堅くなり、食味も落ちるので、タイミングを逃さず、根ごと抜いて収穫します。

本文で紹介した種子などは、JAでお取り寄せできます

**肥料・農薬のご紹介**

令和3年産

水稻肥料・農薬

予約受付開始!

令和2年10月末日まで(一部除く)

(令和3年産)  
 栽培こよみ  
 水稻資材共同購入  
 予約申込書

※予約申込書は各センターにあり、申込書は各センターにあり

●皆様のお宅へ、担当者が訪問!

作付や栽培、肥料や農薬など、どんなことでもお気軽にご相談ください。

ご希望に沿った商品をご提案します。

●早期予約により 大きな値引きを実現!

当JAでは、早期に予約を行うことで、通常価格より安く肥料・農薬をご提供しています。

「栽培こよみ」にセットされている予約申込書で、お申し込みください。

※ご不明な点は、各営農センターまでお問い合わせください